

# 河西便り



第11号 3学期号  
2022.1.27 河西中学校

## ◎3学期を迎えて

1年で最も短い学期である3学期。

3年生にとっては義務教育最後の学期、進路を実現する学期です。下級生の手本となるよう、最後まで最高学年としての誇れる姿を示してくれると期待しています。

2年生は、最高学年を受け継ぐためにふさわしいと思える姿をつくろうと2学期から準備を進めています。軸となる活動を通して、仲間とともに高まる学期にしてくれると期待しています。

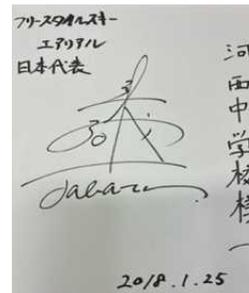
1年生にとっては、先輩になる準備です。年齢だけでなく、気持ちや態度も大きく成長できたことを、新1年生に示せる実績を残す学期になることを期待します。

3学期は、締めくくりの学期であり、責任と結果の学期ともいえます。それぞれに、年齢もひとつ重ね、自らの成長を自負し、大人への階段を一步進んだ自覚をもった令和4年となること期待しています。

## ◎河西中学校卒業生のオリンピック選手！

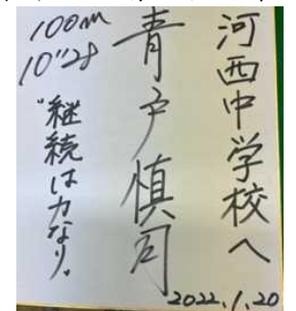
河西中学校の卒業生には、オリンピック出場選手がいます。

一人は、2017年平昌オリンピックでエアリアル（スキーのフリースタイル）に出場された、田原直哉先輩。元々体操選手として活躍し、アテネオリンピックや北京オリンピック等をめざしていたが、故障のため、エアリアルに転向。その逆境から前向きに努力を重ね、日本選手権で5度の優勝を成し遂げ、2017年平昌オリンピック日本代表として出場し、総合19位の成績を収めた。



もう一人は、1988年ソウルオリンピック、1992年バルセロナオリンピックで陸上競技（短距離、リレー）に出場された青戸慎司先輩。1988年、100m10秒28の日本新記録を樹立し、日本人初の10秒3の壁を破る。1988年ソウルオリンピックにも4×100mリレーで出場した。1992年バルセロナオリンピックの100mと4×100mリ

レーで出場。リレーでは第1走者を務め、60年ぶり入賞（6位）及びアジア新記録（38秒77）に貢献。1988年、100m10秒28の日本新記録を樹立し、日本人初の10秒3の壁を破る。1998年長野オリンピックにボブスレー4人乗りで出場し、日本人男子として初の夏冬オリンピック出場を果たした。



※青戸慎司先輩は、1月20日（木）に、木本・松江地区子どもを育てる協議会での講演のため、帰和されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会は中止となってしまいました。

しかし、母校である松江小学校、河西中学校へ表敬訪問してくださり、当時の先生方とも対面、中学校時代の話とオリンピックの話をしていただきました。そして、母校の後輩達にと急遽「走り方教室」と称して、指導してくれました。



～行事予定～

- ◎3年生公立入選懇談会・・・2月4日（金）7日（月）8日（火）9日（水）
- ◎1、2年学年末テスト・・・2月18日（金）21日（月）22日（火）
- ◎3年実力テスト・・・2月18日（金）21日（月）
- ◎公立一般出願・・・2月21日（月）22日（火）
- ◎公立本出願・・・3月2日（水）3日（木）
- ◎3月8日（火）・・・卒業証書授与式
- ◎3月9日（水）・・・公立入選学力検査
- ◎3月10日（木）・・・公立入選面接、実技
- ◎3月24日（木）・・・3学期終業式